

平成29年度第1回一宮市子ども読書活動推進懇話会・
第1回子ども読書活動推進会議合同会議 会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成29年8月8日（火）午前10時～11時50分
- 2 開催場所 中央図書館 6階 多目的室1
- 3 出席者 懇話会委員：9名（欠席1名）
推進会議委員：15名（内代理1名）
事務局：8名

4 議 題

- （1）会長及び副会長の選出について
- （2）一宮市子ども読書活動推進計画の成果について
- （3）その他

- 5 開 会 （事務局が開会を宣言）
「子ども読書のまち宣言」唱和
教育長挨拶
懇話会委員、推進会議委員、事務局自己紹介

6 会 議（要旨）

【議題1 会長、副会長の選出について】

（事務局）議題1「会長、副会長の選出について」については、一宮市子ども読書活動推進懇話会設置要綱第4条第1項、第2項及び第3項により、会長は委員の互選により、副会長は会長の選任により選出。（懇話会委員任期：平成29年6月～平成31年5月）
会長、副会長が各自、就任の挨拶をする。
以後の議事進行は、一宮市子ども読書活動推進懇話会設置要綱第5条に基づき、会長が務めた。

【議題2 一宮市子ども読書活動推進計画の成果について】

（事務局）一宮市子ども読書活動推進計画（第2次）施策体系及び平成29年度子ども読書活動推進関連事業における取り組み状況表により施策事業ごとに事業の成果と一宮市子ども読書活動推進計画（第2次）目標値及び進捗状況について説明。

（会長）今回は第2次計画の成果について、意見を求めるということで始めさせていただく。目標値及び進捗状況表の中で、児童生徒の1か月あたりの読書冊数と学校図書館の学校図書整備率が目標値に達していなかったり、過去の実績から落ちてきている。まず要因について補足をしていただきたい。

（教育総務課）図書整備率が目標である120パーセントに到達したため、市の財政状況により図書購入費を減らして教材費にシフトしている段階である。今後の課題は整備率120パーセントを維持していくことである。

（学校教育課）読書冊数が減っている件については、データ上わからないが、年々減っているのであれば何か原因があると思われるので、確認しないといけない。28年度だけということであれば、また来年度を見てということになる。

（会長）学校サイドで6月に読書週間を設けていただいて、その中で過去の統計に基づいて目標値は設定されたと思うが、年間を通じての平均ではないということは頭においたほうがよい。予算も図書購入費から教材費のほうへ一部シフトされたとい

うことだが、子どものために使っていただいているということで、いたしかたないところもあると私は理解している。

(委員) 小学校の読み聞かせボランティアのネットワーク化の推進というところで、開催が1回となっている。なかなか小学校の読み聞かせボランティアはつながれないという話を聞いているが、応援していきたい。学校司書や学校司書教諭との連携もしてもらいたい。放課後児童クラブ支援員の方には読み聞かせ等の読書指導についての研修が開かれるようになったが、保育士への研修はまだ未実施になっている。

(事務局) 小学校の読み聞かせボランティアグループの件については、図書館は実際には関わっていない。図書館が踏み込んでやるのは難しい面もある。

(委員) ボランティアの自主的な講演会だと思うが、受け皿が推進会議であり懇話会なので、どこの図書館でも構わないので、復活させる形で講演会ができないか。

(事務局) 図書館読み聞かせボランティアネットワーク化の推進については、毎年、図書館も関わって意見交流会や講演会をやっているので、ここに取り込むということで。

(委員) 図書館ネットワーク交換会が未実施なので、合同で何か講演会を開いた後に、話し合いの場を持ってもらいと、子どもに対する思いというのが広がっていく。全体で全部やるのは難しいが、学校関係とボランティアの方とか、ひとつずつでもいいので、ぜひ取り組んでいただきたい。

(事務局) 図書館と学校図書館、図書館とボランティアさんとかの交流は少しずつ広がっているが、全体的なこととなるとなかなか難しいため未実施となっている。少しずつでも努力させていただく。

(委員) 校区のような小さい単位でひとつずつ作っていったらどうか。それからその代表が集まってお話しをすると、もっといろいろな意見が出てくると思う。その上でボランティアに対する講演会があれば全体が集まることもできると思うが、まとめていただくところが無いと、ボランティアだけではなかなかつながることができない。

(事務局) スムーズには行かないとは思いますが、開催に向けて努力させていただく。

(子育て支援課) 子育て支援センターの保育士への研修が未実施という件だが、育児講座に参加したり、保育園の保育士への研修に参加をして、ある程度対応している。それよりも、500、600名ほどの放課後児童クラブの指導員に対する研修が未実施だったので、今回実施し、110名の参加があった。

(副会長) 幼稚園、保育園の蔵書冊数だが、図書の購入予算額がずっと42万円で、園児1人あたりの蔵書冊数も4冊のまま、目標値の7冊は達成できずに終わっている。3次計画でも目標値が7冊に設定されているが、購入予算額が7冊になるように上がっていくことがあるのか。

(保育課長) 新しい図書も購入しているが、消耗が激しい図書は除籍している。もし7冊という目標のままなら、予算も30年度は考えていかなければいけないと思う。

(会長) 目標数値は7冊なので、この数値に近づけるようにご努力をいただきたい。

(委員) ハードの面は充実してきている。今後は、図書館に来たことが無いとか、本を読まないという人たちに、どう働きかけていくかということが重要である。直接働きかけられるのは学校なので、学校のボランティアの方同士が交流できる場は必要である。ここに施策としてあがってきてる以上は、ぜひ受け皿になってほしい。

子育てアプリなどのネットの利用は有効だと思う。

(会長) 子ども読書活動推進計画、進捗状況、目標値は、3年後、5年後をめざして作ったものである以上、それに向かって邁進していくという気持ちは是非とも持っていないといけない。

(事務局) 図書館ネットワーク交流会がずっと未実施なのは、反省しなければならない。小さい単位で始めていくことを検討し、図書館が中心になって進めていきたいと思う。

(副会長) 学校読み聞かせボランティアグループの活動については、図書館にたくさんサポートしていただいた。ただ、小学校の読み聞かせグループのお母さん方も大変忙しく、ウィークデーの日中の集まりには参加しにくいという声は聞いている。ボランティアだけの自主的な意思での活動というのは難しい面もあるので、公の支援をお願いしたい。

(委員) 他の市町のことだが、図書館自体が全部の学校ボランティアに対して、子ども読書活動推進資料として立派な資料を作って無料で配っているところもある。一宮もたくさんの資料を作っているが、子ども読書活動推進の中で推進資料として出しているものは無い。

(会長) 今後、第3次計画を推進するにあたって、人がネックとなると思うが、予算や場所の確保について意見をいただきたい。

(教育文化部) 予算の関係は年々厳しく、なかなか捻出することが難しいが、相談して場を作ることを考えていきたい。

(委員) 図書館によって未実施の施策がある。ボランティア講習会の例をとると、木曽川図書館だけが未実施だが、理由を教えてください。

(事務局) 木曽川は予算上の関係で実施していない。

(委員) 予算の問題もあると思うが、場所は大切なので、それぞれの図書館の環境を整えることが大切である。また、子ども文化広場図書館は全国に誇れる図書館なので、そこで会議などを開いたらどうか。

(事務局) 全般的に市立図書館内のバランスを再度検証し、検討していきたいと思う。

(委員) 若いお母さんの中には図書館へ行ったことがない方がみえて、産んでもすぐいけないということなので、妊婦さん向けの講習会を開催して図書館に来ていただきたらと思う。

(事務局) 本との出会いというのはブックスタートで、4か月検診のときに初めて本を提供し、図書館と読み聞かせの重要性を説明している。その前の妊婦さんの段階から早めの対応をすることも検討をさせていただきたいと思う。

(委員) ストーリーテリングの際に、妊婦さんにも是非いらしてくださいと言っているが、おはなし会のチラシにも是非いらしてくださいという文言をちょっと添えるだけでも、ステップになると思う。

(事務局) それは、可能である。

(委員) ブックスタートの時におはなし会のことを案内しているが、子育てアプリでは、どの時点で紹介があるのか。

(子育て支援課) アプリのことを紹介した「いちのみや子育て支援ハンドブック」という冊子を今年度から作り、妊娠届け提出のときに保健センターで配布している。また、4か月になる前の赤ちゃんのいる家庭全戸を訪問した際にも、もう一度アプリの

紹介をした冊子を配布している。このアプリで、当日の一宮市内の子どもに関連したイベントが見られる。4月からのスタートのため、まだダウンロード数は多くはないが、妊娠届けを出された方にどんどんPRして、これを活用するお母さん方が増えていけば、かなりPRの力になると思う。

(委員) 先日、愛知県の図書館の研修に参加させてもらったが、とてもいいお話で、人材育成のために各図書館1人ずつぐらい研修に参加してもらおうといいと思う。

(会長) それでは議題2について、総括させていただく。まず、目標値に対して達成率が100%になっていないものがあるが、今後も推進が必要なものは第3次の推進計画にも引き継がれていると思う。がんばって推進していただいているにも関わらず、横ばい、未実施、下降しているものものもあるが、これらは達成率という数値だけで捕らえるべきではなく、引き続き積極的に推進していくことが大切だと考えている。一宮市の次代を担う子どもたちが読書を通してりっぱな人格を形成していく、そんな思いが子ども読書のまちの宣言に謳っているということで、皆様には読書を基盤とした人づくり、まちづくりに引き続きお力を賜りますようお願いして、本日の会議を締めさせていただきます。

(委員) 教育長先生や市の役員方がお見えになる中で、この冊子を送られただけで意見を求められても、委員の方々の力が発揮できる会議にはならない。事前に1回打ち合わせの会をもって出れば、深い会議になると思うので検討を。

(事務局) 検討する。

(会長) それでは議題2は、ここで「了」とさせていただきます。議題3「その他」について、事務局から説明を。

【議題3 その他について】

(事務局) 次回の子ども読書活動推進懇話会は、平成30年2月頃、会場は中央図書館で開催を予定している。

(会長) それでは本日予定しておりました議題はすべて終了いたしました。長時間のご審議をいただきありがとうございました。

(教育長) お礼のことば